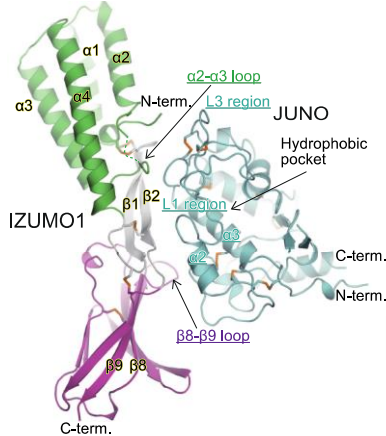


プロフィール



名前	井上 直和
所属部署	福島県立医科大学医学部 附属生体情報伝達研究所
職種	准教授
この研究室に入った日	2013. 5. 1.
出身地	福島県
趣味	バイクのツーリング、 ジョギング、子守

写真説明

(左) 哺乳類の配偶子融合に必須なIZUMO1 (精子) とその受容体JUNO (卵子)
(右) IZUMO1 (左側：著者) とJUNO (右側：Enrica Bianchi博士) の遭遇

インタビュー

Q1 現在の研究室の仕事内容を教えてください。

生物が気の遠くなるぐらいの長い時間を使って練り上げた有性生殖の仕組みを現代科学の言葉で語りたい！！というモチベーションを原動力に、大学院生時代から約20年間、哺乳類の配偶子間認識・相互作用の分子メカニズムの研究を行っています。

Q2 研究による代表的な発見は？

20年も同じことを研究していると、山あり谷ありです。そのなかでうまくいった例は、幸運なことに精子側で配偶子融合に重要なIZUMO1という因子を発見することができました。当然、その卵子側の受容体も探していましたが、イギリスの研究グループに先を越されました（写真のEnricaのラボ）。最近、東大とコラボでIZUMO1-JUNO複合体の細密立体構造の解明に成功しました。

Q3 なぜ研究者になったの？

高校生の頃に注目を集めたバイオテクノロジーに憧れて、生物系の大学に進学しましたが、学部生の頃はよもや自分が研究者になろうとは夢にも思っていませんでしたが、大学院時代に尊敬すべき先生方と出会い、その姿に憧れて、気がついたらこの世界に足を踏み入れていました。毎年研究資金集めに苦労していますが、周りの温かいサポートもあり、今のところ途切れることなく何とか研究できています。若手研究者の方にも諦めず是非頑張ってください！！ちなみに子供の頃の夢は、ダンプの運転手でした。まだ諦めていません。